

株式会社 **MORESCO**

小さくとも世界にきらりと光を放つ企業を目指して

# 第1四半期業績の概要

(2021年3月1日～2021年5月31日)

東証第一部5018 (石油・石炭製品)

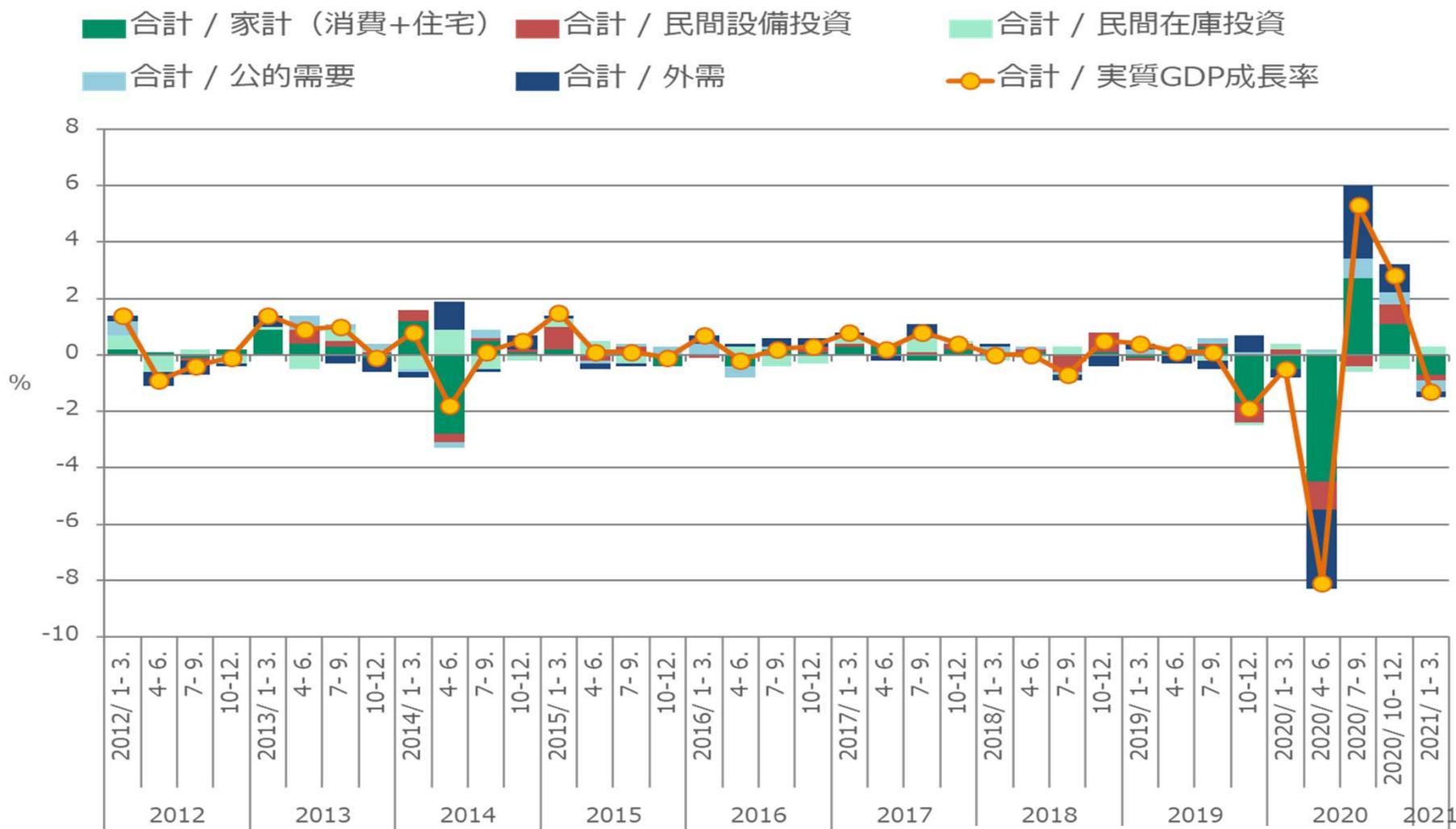
2021/7

# 当期の経営環境（1）



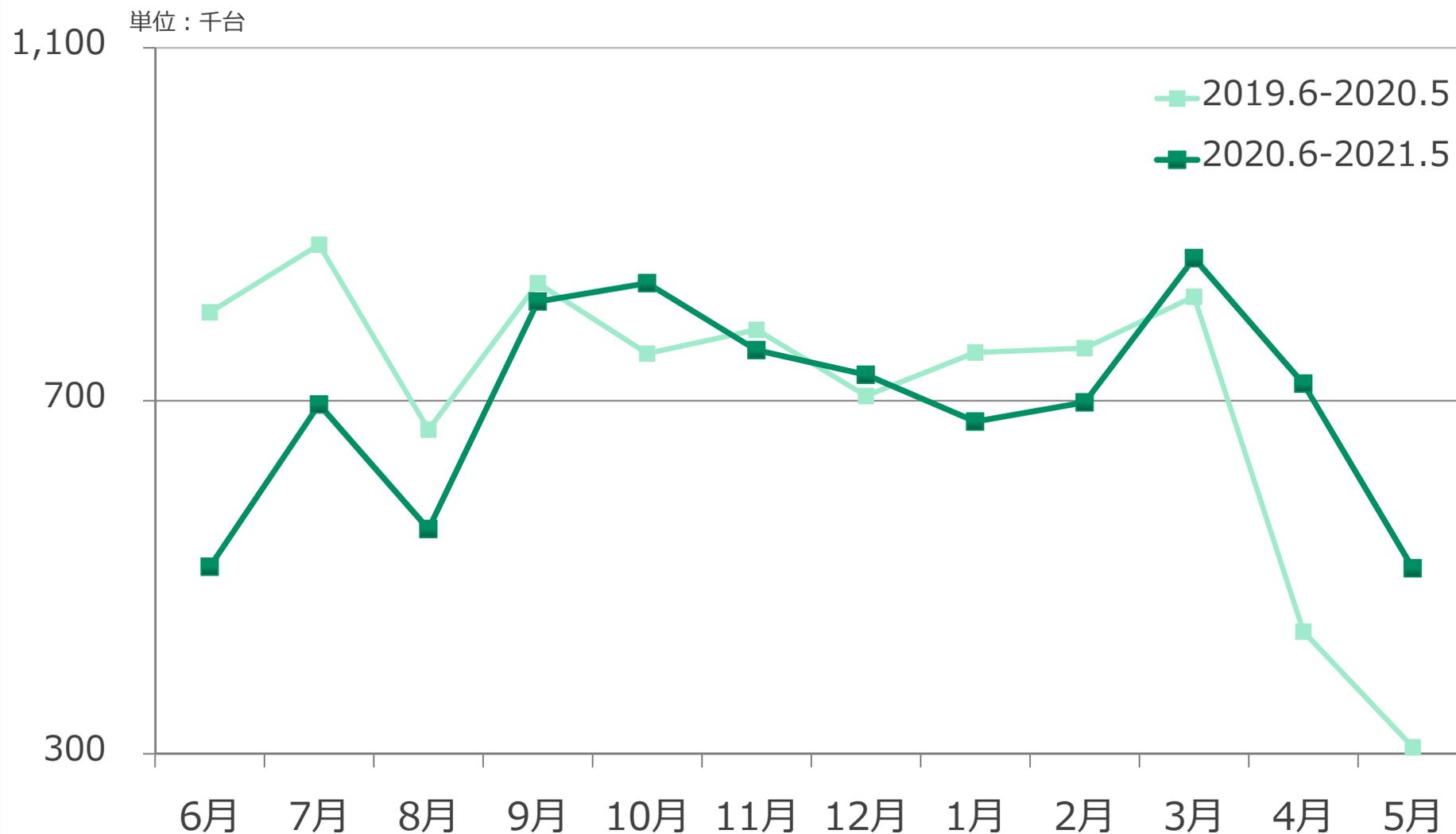
## 四半期別 実質GDP寄与度 推移

出展：内閣府



## 国内 月別 自動車生産台数

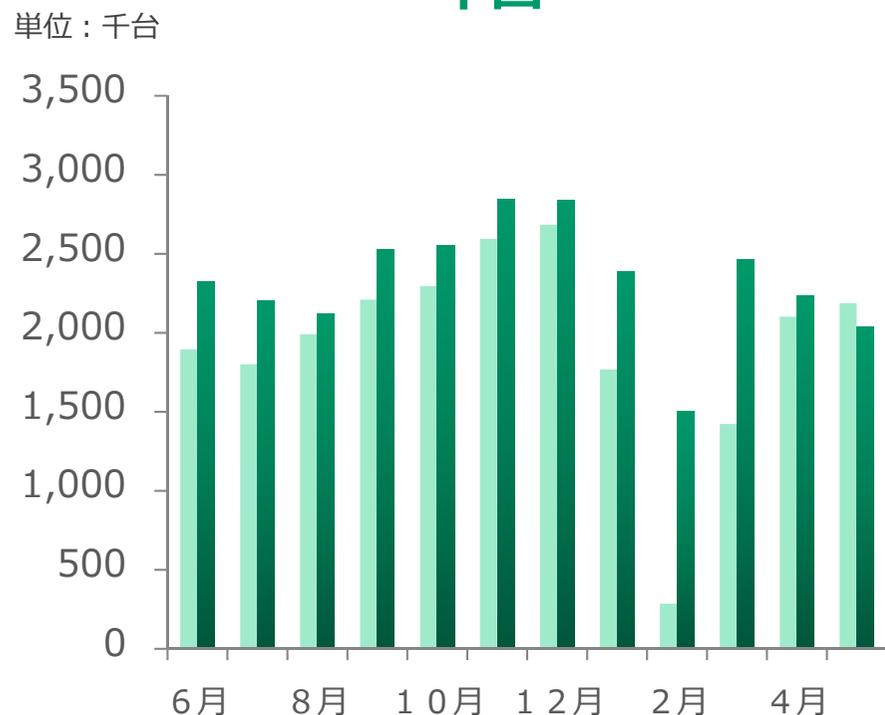
出典：日本自動車工業会  
マークラインズ社



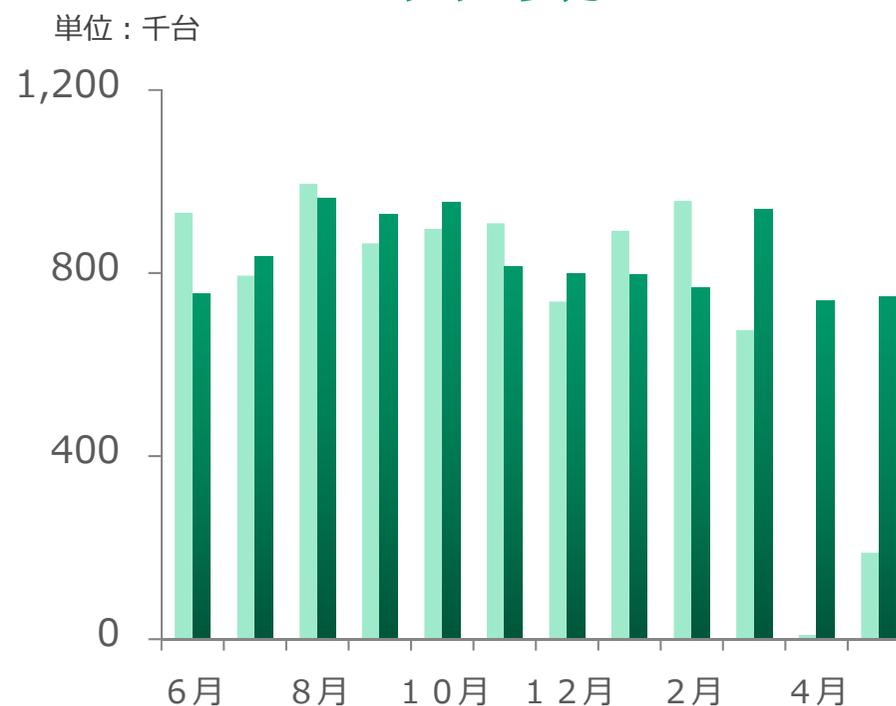
## 海外自動車生産台数の推移

■ 2019.6-2020.5  
■ 2020.6-2021.5

### 中国



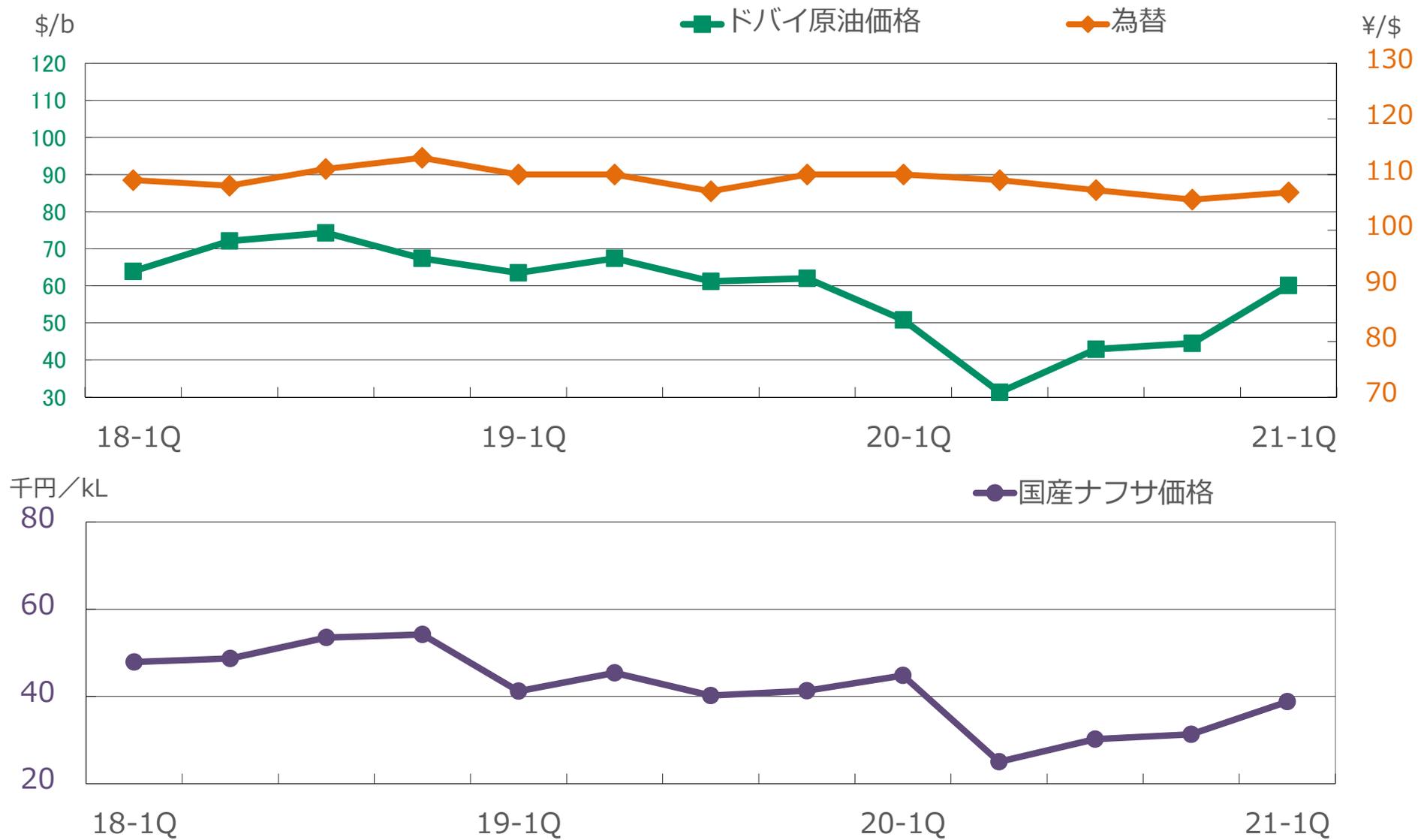
### アメリカ



出典：マークラインズ社



# 当期の経営環境（5）



# 決算概要 連結損益計算書

- 自動車生産の回復を背景とした増収、為替差益の計上による営業外収益の増加
- 賃貸用不動産の売却益を特別利益に計上

単位：百万円

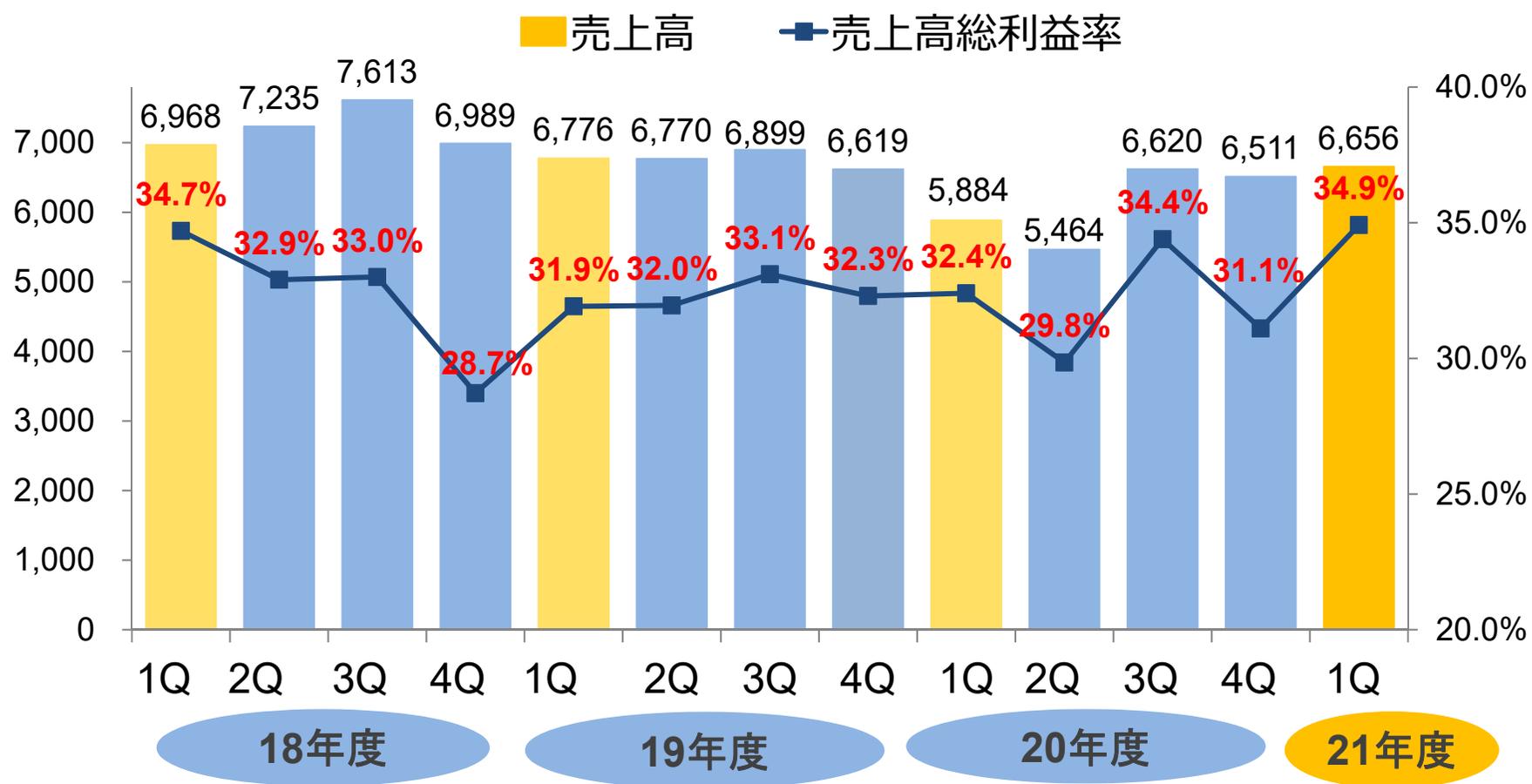
科目	20 / 1Q	21 / 1Q	前期比
売上高	5,884	6,656	+13.1%
売上総利益	1,905	2,324	+22.0%
販管費	1,763	1,805	+2.4%
営業利益	142	520	+265.0%
営業外損益	△119	202	—
経常利益	24	721	—
特別利益	—	833	—
税引前利益	24	1,555	—
当期純利益 (※)	△17	1,095	—

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

# 売上高、売上総利益率の推移



➤ 数量増による固定費率低下や素材部門の収益性改善等により利益率は前年同期比2.5ポイント上昇



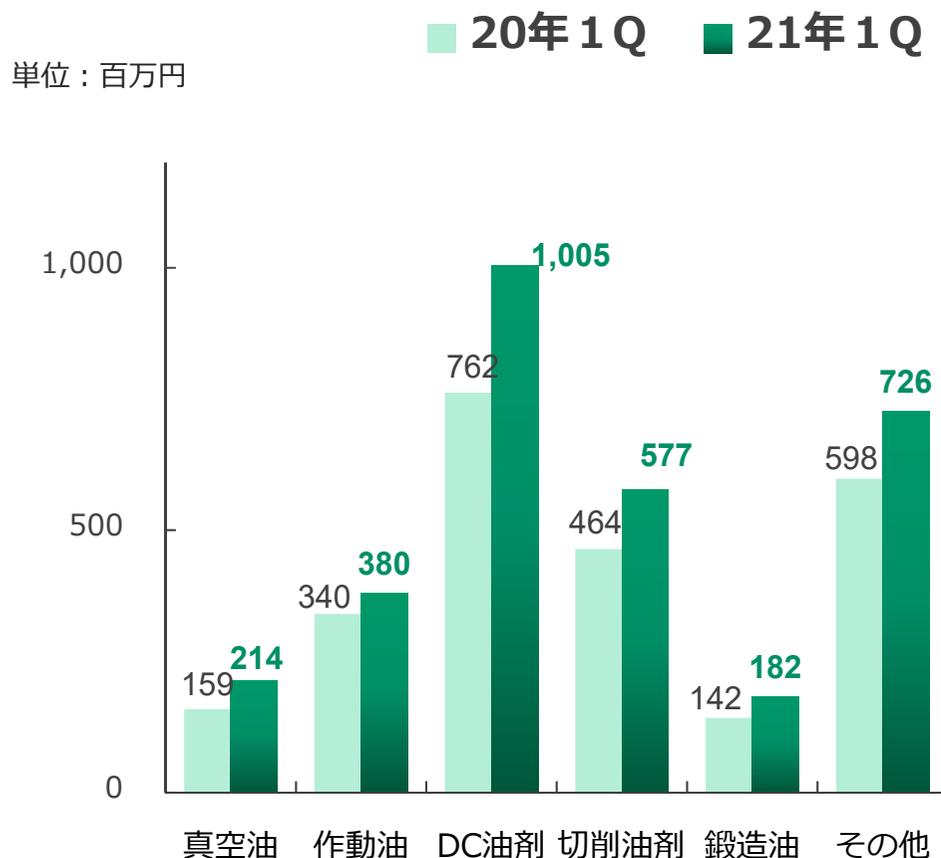
# 部門別売上高の内訳

MORESCO

単位：百万円

科目	20 / 1Q	21 / 1Q	前期比
特殊潤滑油部門	2,464	3,083	+25.1%
合成潤滑油部門	525	503	△4.3%
（うち、HD潤滑剤）	220	160	△27.6%
素材部門	862	807	△6.4%
ホトメト接着剤部門	1,625	1,671	+2.8%
その他	394	584	+48.4%
化学品事業計	5,870	6,648	+13.2%
ビル事業	13	8	△36.7%
売上高合計	5,884	6,656	+13.1%

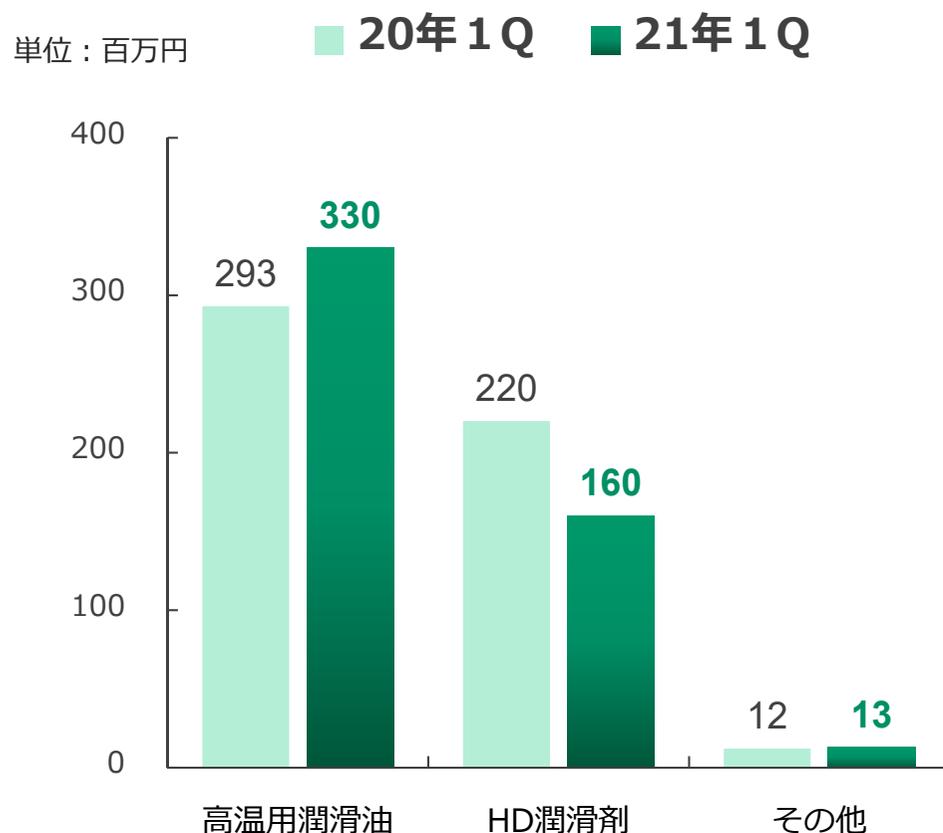
➤ 部門全体の売上は前年比25.1%増（3,083百万円）  
数量は23.6%増



## ➤ダイカスト用油剤（DC油剤）

- ・国内自動車生産が回復基調で推移
- ・顧客での生産性向上に資する少量塗布型ダイカスト離型剤が順調に推移

## ➤ 部門全体の売上は前年比4.3%減（503百万円）



### ➤ 高温用潤滑油

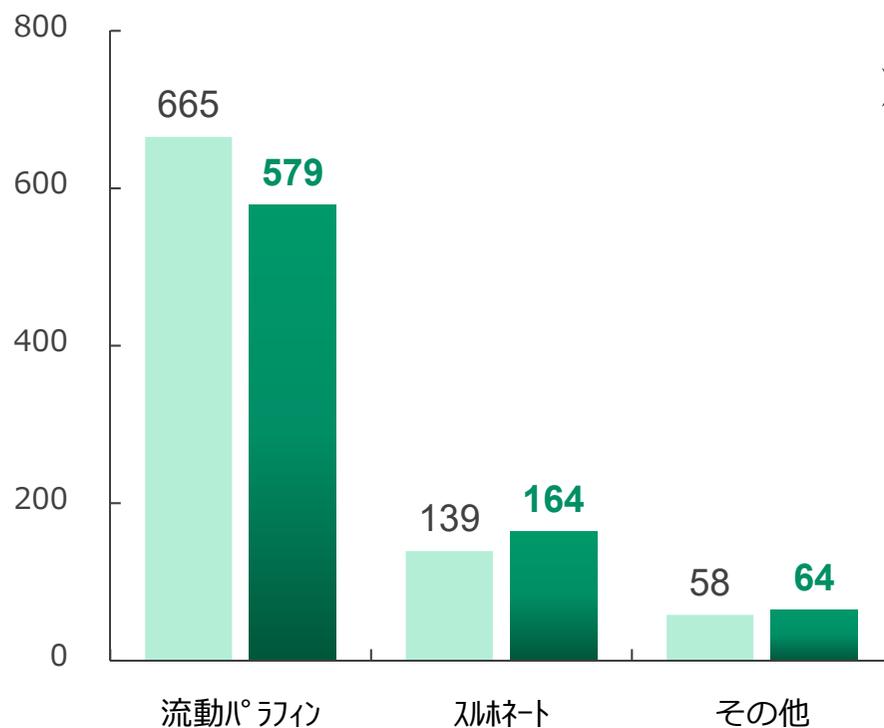
国内自動車生産の回復と旺盛な中国需要を背景に増収

### ➤ ハードディスク表面潤滑剤

ローカルストレージ分野でのSSDへの置換の影響を受け減収。  
(中期的にはデータセンター用途でのHDD需要増を見込む)

➤ 部門全体の売上は前年比6.4%減（807百万円）  
数量は9.1%減

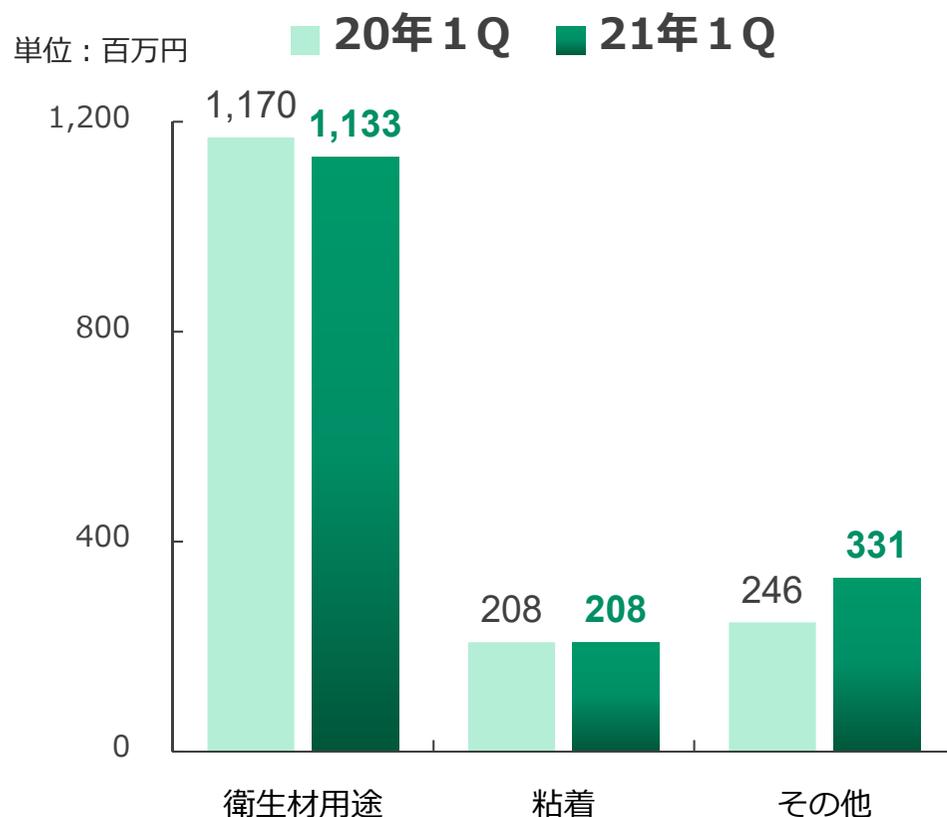
単位：百万円    ■ 20年1Q    ■ 21年1Q



## ➤ 流動パラフィン

ポリスチレン可塑剤および化粧品用途が増収となった一方で、採算性を踏まえて一部取引の見直しを行ったことにより減収。

➤ 部門全体の売上は前年比2.8%増（1,671百万円）  
数量も2.8%増



➤ 衛生材用途

日本、インドネシアで堅調に推移

➤ その他

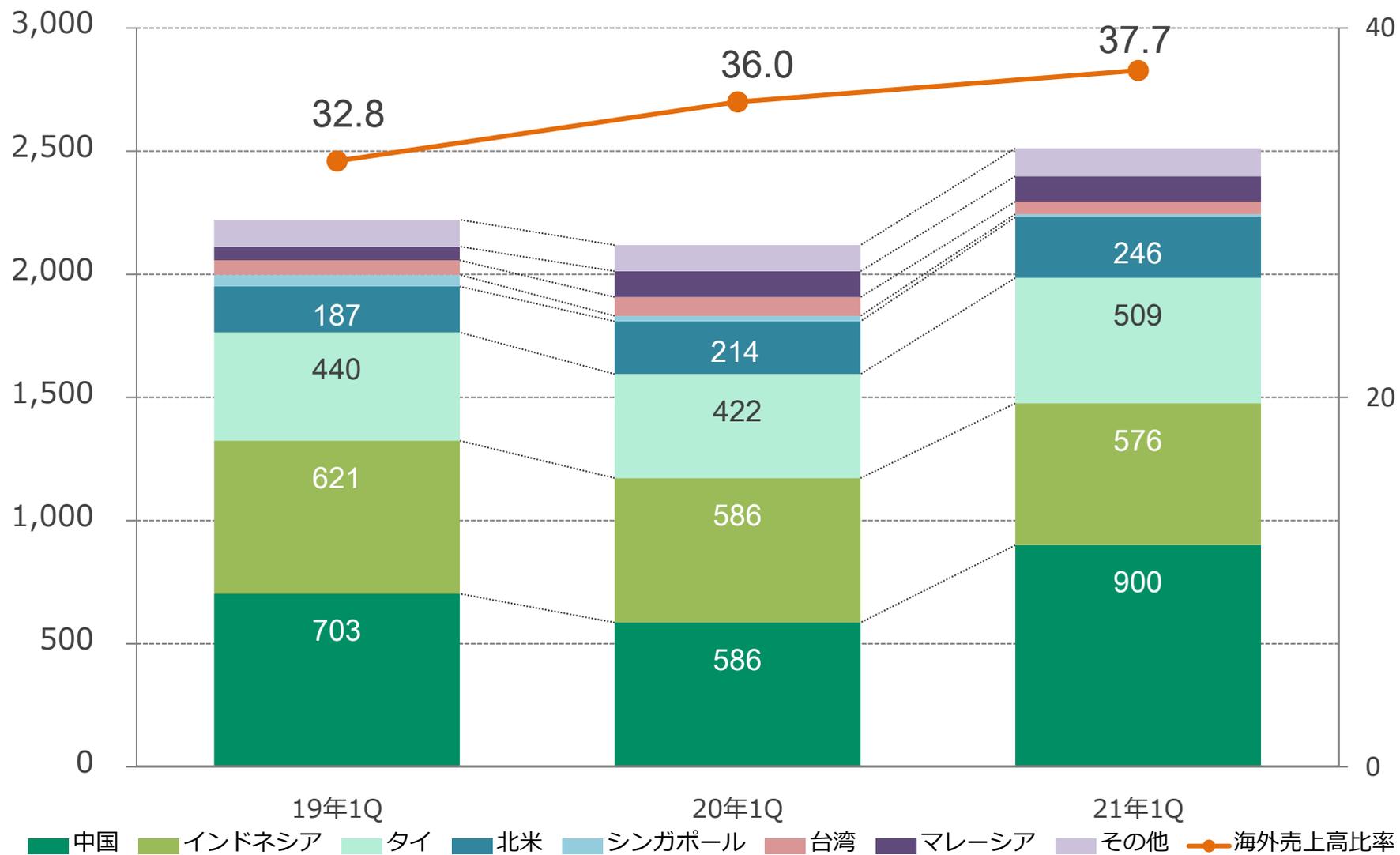
自動車内装関連および空気清浄機用フィルター用途が増収

# 海外売上高（連結）



単位：百万円

単位：%

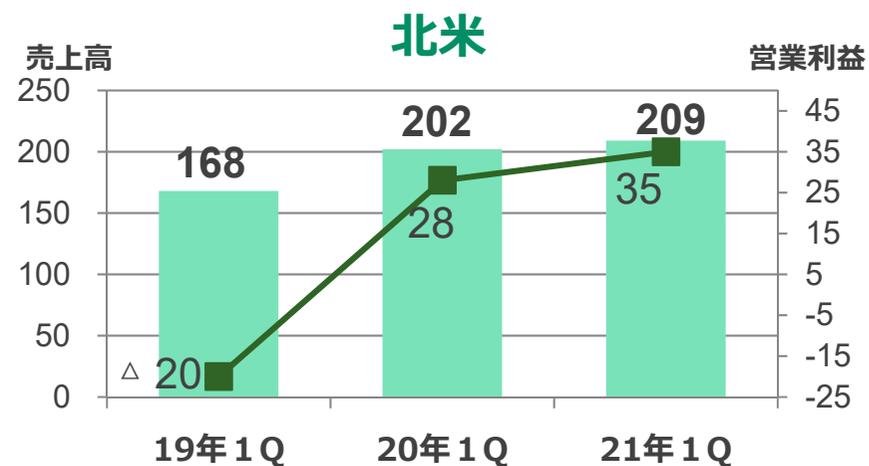
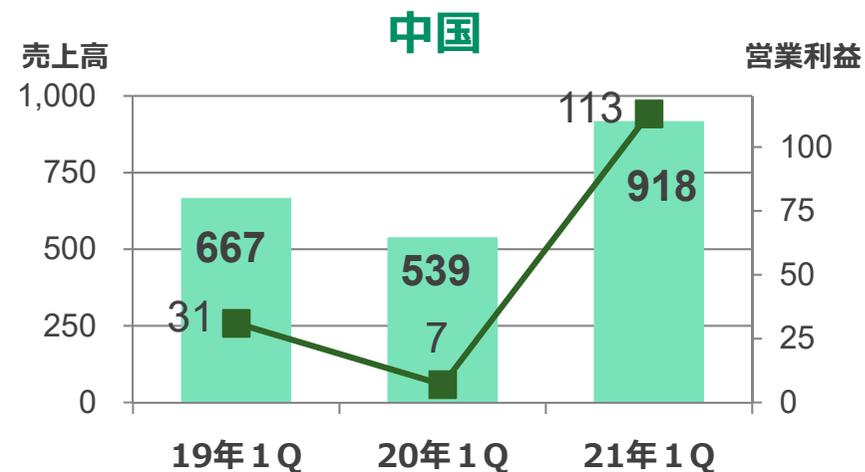
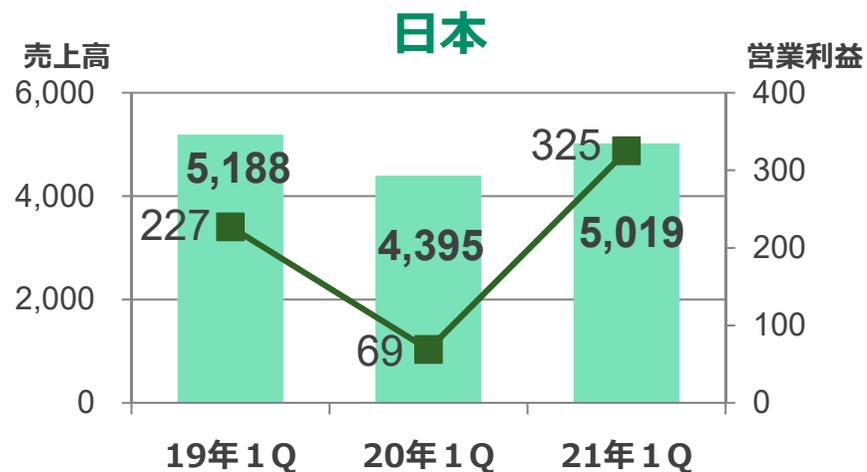


# 地域別損益（連結）



■ 売上高 ■ 営業利益

単位：百万円



## 2021年度 連結業績予想

MORESCO

科目	2021年1Q	2021年度 通期予想	進捗率
売上高	6,656	25,830	25.8%
営業利益	520	1,170	44.4%
経常利益	721	1,470	49.1%
当期純利益	1,095	1,200	91.3%

# 持続可能社会の実現

## ➤ 植物由来樹脂を配合したホットメルト粘着剤

- 植物由来樹脂を25~30%配合したホットメルト粘着剤3品番を開発し、日本有機資源協会からバイオマスマーク商品として認定されました。

植物等バイオマスから作られる商品は、燃やしても二酸化炭素の増減に影響を与えない(カーボンニュートラル)

→地球温暖化の原因となる温室効果ガスへの影響を抑制



品番	BM-546Z	BM-105	BM-508Z
バイオマス度 (%)	 バイオマス No.200115	 バイオマス No.200116	 バイオマス No.200114
主成分	合成ゴム	合成ゴム	合成ゴム
粘度 (mPa・s)	180℃	2,300	11,200
	160℃	4,000	41,800
	140℃	8,800	210,500
軟化点 (℃)	94	119	83
特長	汎用品ラベル向け 強粘着・低ブリード	FDA175.125準拠 (食品直貼り可)	冷凍・冷蔵品へ 貼付け可能

## ➤ 新エネルギー車にも対応の水溶性少量塗布離型剤

➤ オイルフリーの離型剤により、低ガス性・低腐食性・高洗浄性を実現

### 高洗浄性

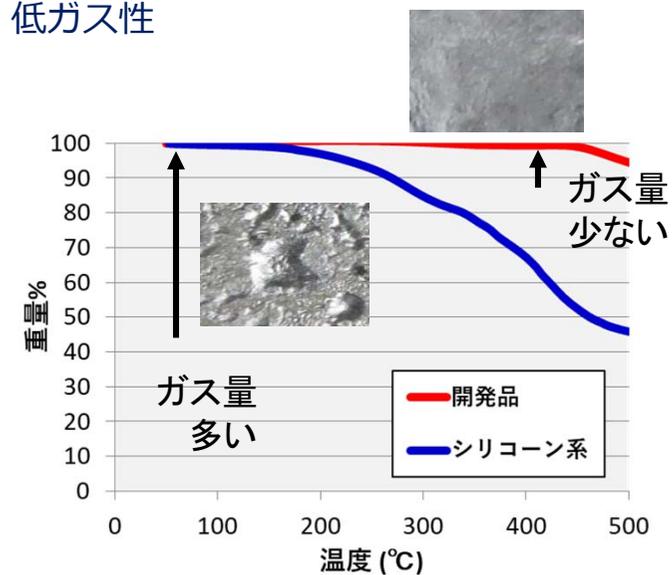
洗浄前      洗浄後



水洗浄



### 低ガス性



温度 (°C)	開発品 (重量%)	シリコン系 (重量%)
0	100	100
100	100	100
200	100	100
300	100	95
400	100	75
500	95	45

ガス量 少ない (開発品)

ガス量 多い (シリコン系)

### 低腐食性

アルミ新合金  
適合性試験

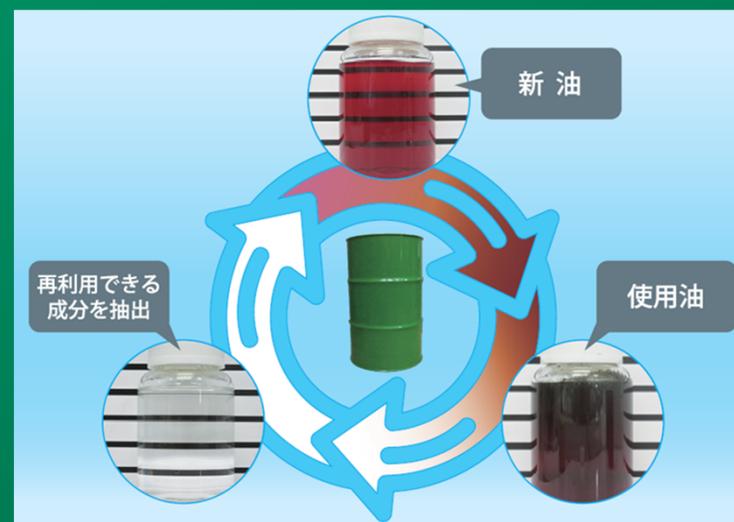
開発品	従来品
	
腐食なし	腐食あり

- 低ガス性、低腐食性により新エネルギー車のアルミ部品に適用可能 (自動車軽量化、燃費向上)
- 高洗浄性により洗浄設備や洗浄コストが不要

## ➤ 水グリコール系作動油のリサイクル

- 古くなった水グリから劣化していない成分だけを抽出し、水グリの材料としてリユース

リサイクル処理装置



- ★ 使用済み水グリの回収量増  
(現状は出荷量の5%)
- ★ 回収した水グリのリサイクル収率増加  
(現状は50%)  
を目指す

## ➤ 有機薄膜太陽電池(OPV)

- OPVは生産時のCO2発生がシリコン太陽電池に比べて1/5であり、太陽電池の中でもよりエコな太陽電池
- 現在、国内では当社が唯一、連続印刷でのOPVのモジュールを作製



フレキシブルなOPVモジュール



窓枠パネルへのOPV搭載  
ビルメンテナンス会社へ設置



自由な形状のOPV (OPTree)  
神戸どうぶつ王国へ設置

フレキシブルな連続フィルムへ対応可能なレーザー技術により、OPVへの自由なデザイン付与や発電効率向上に対応できる  
→より身近に電力が得られ、低炭素社会の実現に貢献

## ➤ チェーン・軸受用高機能潤滑油

- 優れた耐熱性と潤滑性(低摩擦性)により、給油量や消費電力量を削減し、環境負荷低減に貢献

### <メリット>

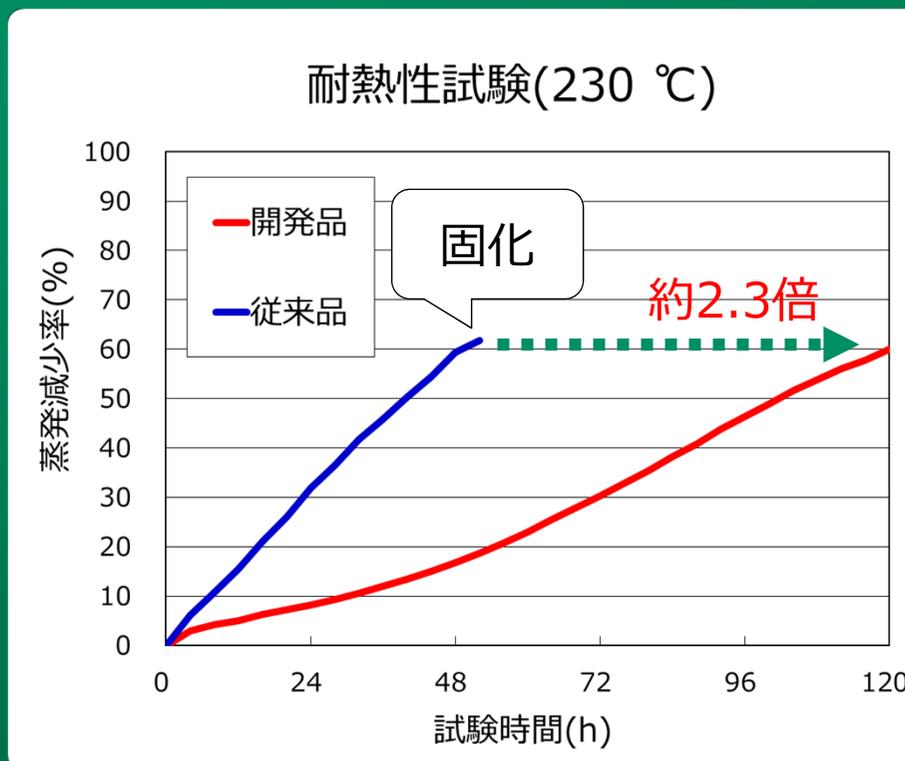
- ・ 蒸発量が少なく長寿命
- ・ 使用される装置の長寿命化
- ・ 廃棄物低減 など

### <採用実績>

- ・ 大手製パンメーカー



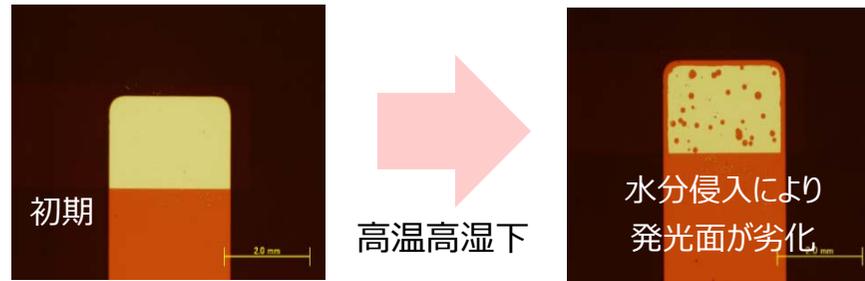
開発品は耐熱性が高く、スラッジ化し難いため、安定給油が可能



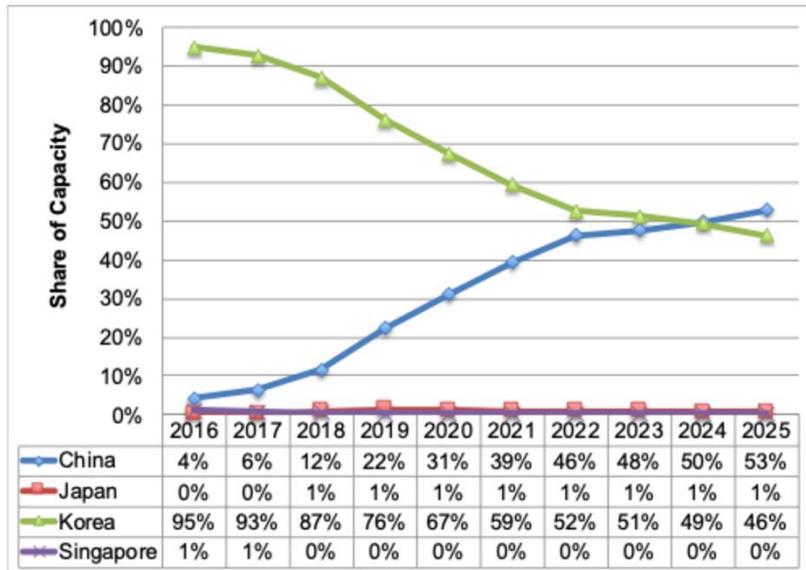
# 新分野・新商品

## ➤有機EL用封止材

- 封止材は、外部からの水分侵入による有機ELの劣化を防止する役割を担う
- 今回、社内で開発した独自技術により、更なる高水蒸気バリア化に成功



@有機ELデバイスでの劣化（性能）評価



Mobile OLED Capacity share by country

**〔成長戦略〕**  
 今後、韓国市場の成長を上回る中国市場でのシェア拡大を目指す

出典：DSCC  
 Jun. 8, 2020  
 「Latest DSCC Display Capacity Forecast」

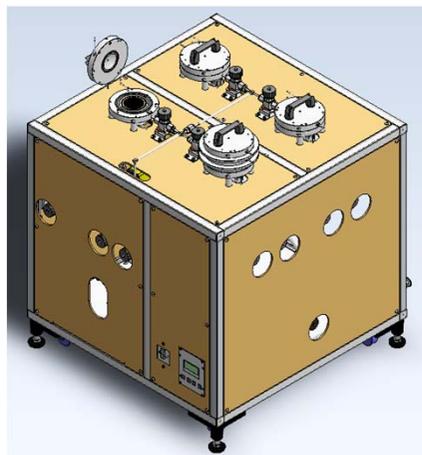
<https://www.displaysupplychain.com/blog/latest-dscc-display-capacity-forecast-raises-china-share-to-66-from-2023-69-in-lcds>

## ➤ ガス・水蒸気透過度測定装置

➤ 迅速・高感度、高精度でシートやフィルム状のガスバリア性が測定可能な装置



現行装置  
(MORESCO-SuperDetect)



開発中の新装置  
(MORESCO-SuperDetect)

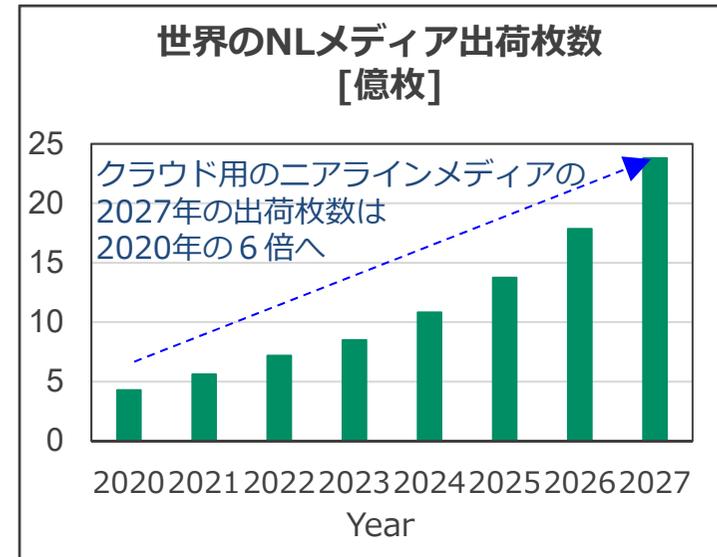
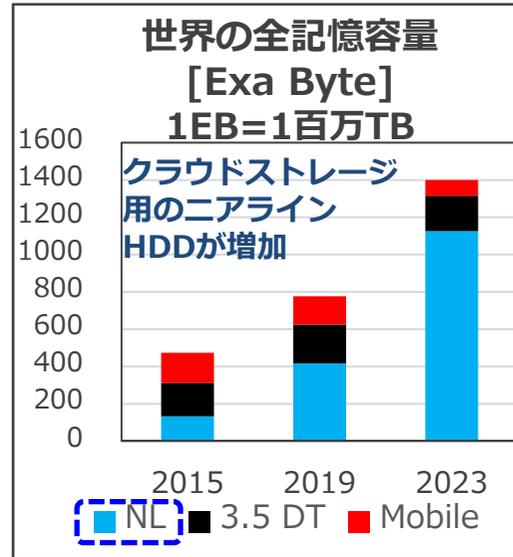
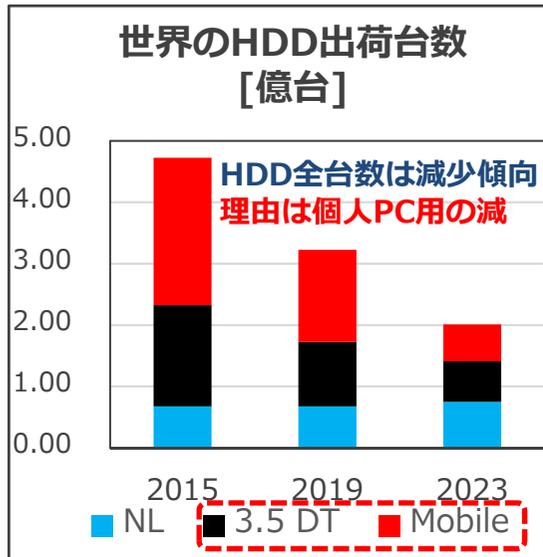
特長/装置	現行装置	開発中の新装置	他社装置
試料室数 (チャンバー数)	○	◎	○
測定能力	◎	○	○
測定速度	○	◎	○
測定可能なガス	◎	◎	○

装置比較表

現行装置に加えてユーザーの用途・分野別、生産・品質管理用にラインナップ拡充のため、マルチチャンバータイプの新装置を開発中

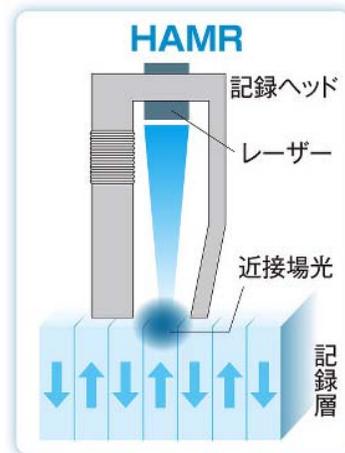
→食品・医薬品包装分野、半導体分野、有機デバイス分野など多様な分野へ展開予定

## 次世代磁気ディスク用表面潤滑油



今後は世界の爆発的なストレージ需要と、5Gによる超高速通信により、クラウドストレージ用の大容量ニアラインHDDが主流へ台頭。個人のローカルストレージは年々減少傾向。

HDDはSSDやテープとは棲み分け。MORESCOでは次世代ドライブ用HDルブの開発を推進。



次世代HDDはレーザー加熱による高温記録 ← 高温用HDルブ開発

### ニアラインドライブ

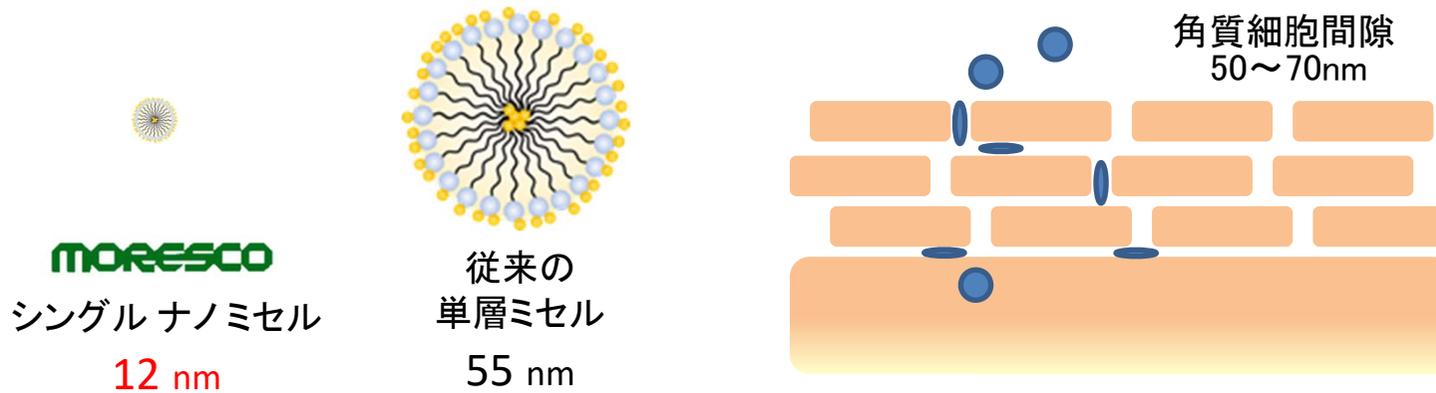
旧4TB HDDは4枚メディア



最新16TB HDDは8枚メディア  
(容量4倍、枚数2倍)

## ▶ ナノエマルジョン技術

機能性素材を従来よりも非常に小さいサイズで溶解



ナノサイズの乳化により、難水溶性薬物の経口/経皮吸収率が大幅に改善可能  
※既存材料(医薬品添加物、医薬部外品原料、食品添加物)で構成



化粧品・ヘルスケア分野での展開を推進中

## 共同研究開発

### 愛媛大学と新規アレルギー治療薬の共同研究開発を推進

気管支喘息、アレルギー性鼻炎など

幅広いアレルギー疾患に治療効果が期待

活性、吸水性、安全性を備えた化合物の取得を目指し合成展開中



愛媛大学大学院医学系研究科  
愛媛大学医学部



### 大学発ベンチャーの株式会社AutoPhagyGOに出資し共同研究開発を推進

生活習慣病改善を期待できるオートファジーを対象とした創薬活動を推進

薬理活性が向上した重要化合物を取得

更なる活性向上、薬としての物性、安全性を備えた化合物へ合成展開中



オートファジー研究は、老化に関連する様々な現象や疾患の予防・治療へつながる研究

## ➤ MORESCO流「働き方改革」

業務革新による労働生産性の向上、多様な働き方の推進、定年再雇用制度の充実を図り、従業員が更に活躍できるMORESCOを目指します。

### 現在の取組内容

- 新型コロナウイルス感染予防対策
- リモートワークの推進
- フレックスタイムの充実
- 副業の自由化促進

### 取組む課題

- SDGsをより意識した事業活動
- DXの推進

(デジタルトランスフォーメーション)

- ・ ITを取り入れた環境整備
- ・ RPAの活用

(ロボティック・プロセス・オートメーション)



健康経営優良法人2021  
(大規模法人部門)に認定



令和2年度「ひょうご仕事と生活の  
バランス企業表彰」を受賞

———MORESCO健康経営宣言———

従業員が心身ともに健康であることが、企業の持続的な発展に不可欠と考え、「一人一人が豊かな環境で育ち、新たな価値を育てていく会社」を実現するため、従業員の健康づくりを推進していきます。



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。

株式会社 **MORESCO**

2021/7

<https://www.moresco.co.jp/>  
IR窓口 078-303-9051 (経営企画部)